



吉川のシンボル“尾神岳”



令和4年度 吉川中学校グランドデザイン



教育目標
向上心に燃え、心身ともにたくましく実践力のある生徒

生徒会スローガン
明朗 さわやか 堂々

重点目標（目指す生徒像、学校像）
目標達成のための実践内容と方策

【学校経営の基本方針】

- 少人数、小中一貫、地域とのつながりの強みを生かす
- ・全職員の学校運営への参画、関係機関との連携「チーム吉川中」
 - ・キャリア教育の視点に基づくカリキュラム・マネジメント
 - ・5つの教育期を生かした生徒の主体的な活動の創造
 - ・地域の教育資源の活用と地域への貢献活動の推進

キャリア教育を核にした小中連携の推進

- キャリア教育の視点で全教育活動を見直し、育てたい力を明確にして指導を行う。
- 学校の教育活動全体を通して、主体性と社会性を育む指導を工夫し、実践する。
 - ・キャリア教育で育てたい力（基礎的・汎用的能力）で、活動の目標を捉え直す。
 - ・小学校と連携し、9年間を通じた主体性と社会性を育成する指導を推進する。
 - ・学校外の資源を活用した、3年間を見通して「総合的な学習の時間」を実施する。

心身の健康を保ち、体力の向上に努める生徒
「活力と誇りある吉川中」

望ましい生活習慣の構築

- 全校体制で、規則正しい生活習慣・体力づくりを進める。
- 命を大切にする教育を進め、自他を認め、互いを尊重する意識を醸成する。
 - ・すべての教育活動で「命の教育」を推進
 - ・教科体育、部活動、体育的行事での体力増進
 - ・学校保健委員会による家庭、地域への啓発
 - ・小学校と連携したメディアセーブ運動

自らを律しつつ、他と協調して活動する生徒
「笑顔と希望ある吉川中」

郷土愛、主体性・社会性の育成

- 特別活動を中心に、自治の精神を涵養する。
- 地域の力を活用した様々な体験活動を工夫し、自己肯定感を高める。
- 多様な人間関係での活動を仕組み、広い視野・広い人間関係をもたせる。
 - ・生徒の課題意識に基づいた生徒会活動の充実
 - ・全校体制による地域行事への参画と地域連携の強化
 - ・異年齢集団活動、多様な外部講師による授業の実施

思いやり・協力性の涵養

- 生徒指導部会を中心に、いじめ・不登校の未然防止と組織的対応を行う。
- 同和教育を中核とした人権教育を進め、差別をしない、させない生徒を育てる。
- 全校体制による道徳の授業を推進するとともに道徳の実践力を高める。
 - ・定期的な情報交換の場の設定と関係機関との連携
 - ・「市同和教育研究指定地区」による人権教育の推進
 - ・教育期に応じた「考え、議論する道徳」の実践

■学校間、家庭・地域・関係機関との連携・協働

- ・授業公開、学校だより、HPによる情報発信の強化
- ・PTA、学校運営協議会、青少年育成会議等との連携
- ・吉川小学校、吉川高等特別支援学校との交流、連携

■わが校のミッション(使命)

- 生徒に対して
 - ・「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力の育成
 - ・ふるさと吉川に学び、仲間とともに未来を切り拓く子どもの育成（中学校区育てたい子ども像）
- 地域社会に対して
 - ・「社会に開かれた教育課程」の創造、活性化へ貢献

向上心を持ち、主体的に学習に取り組む生徒
「知性と誉れある吉川中」

主体的な学習態度の育成

- 「学び合い」「指導と評価の一体化」を中心にした授業改善を継続する。
- 予習→授業→復習の学習サイクルを定着させ、家庭学習を充実させる。
- 学ぶ意義や目的を明確にし、学習意欲を高める。
 - ・「吉中スタンダード」に基づく一人一研究授業
 - ・宿題ボードの活用と終学活での班会議の実施
 - ・「キャリアカウンセリング」の実施と「キャリアパスポート」の活用

特別支援教育の推進

- 校内委員会を中心に、全校体制で特別支援教育を推進する。
- 授業のUD化に全校体制で取り組む。
 - ・UDプレートの活用、教室環境の整備
 - ・校内委員会を核とした全校体制での支援
 - ・特別な教育的ニーズの把握と対応
 - ・関係機関との連携による支援体制の構築

■学校の指導体制の充実、研究推進

- ・指導、支援の充実を図るTT指導と個別指導の導入
- ・市教育センター、市学校研の研修への計画的な参加
- ・市教育委員会による訪問等の効果的な活用
- ・上越教育大学学校支援プロジェクトとの連携